

誰一人取り残さないための被災者支援基礎セミナー

今年発生した能登半島地震をはじめ、被災自治体では、被災者に寄り添った支援のあり方が課題になっています。徳島県では、来るべき南海トラフ巨大地震等、県内で自然災害が発生した際に、誰一人取り残さないための官民連携による被災者支援体制整備に取り組んでいるところです。今回のセミナーでは、全国の被災者支援の第一線でご活躍中のお二方をお招きし、誰一人取り残さないために必要な被災者支援の基礎的なスキルを習得します。

2/2 [金]

09:15~12:15

第1回 被災者支援ファシリテーション

講義 被災者支援ファシリテーションの基礎と事例

演習 情報共有会議の運営とファシリテーション

講師 特定非営利活動法人日本ファシリテーション協会
フェロー 鈴木 まり子 氏

特定非営利活動法人日本ファシリテーション協会の災害復興支援室メンバーとして東日本大震災から現在まで、多様な話し合い、対話の場の進行役を続けている。その経験をもとに、地域の防災リーダーや自治体向けに「災害・防災のためのファシリテーション研修」を展開している。令和3年7月豪雨災害では、静岡県被災者支援コーディネーターとして熱海市で活動し、現在も引き続き支援中。共著『ファシリテーション～実践から学ぶスキルとところ～』（岩波書店）。



2/6 [火]

13:30~16:30

第2回 被災者支援コーディネーション

講義 被災者支援コーディネーションの基礎と事例

演習 被災者支援の流れとコーディネーション

講師 特定非営利活動法人全国災害ボランティア支援団体
ネットワーク(JVOAD) 事業担当 鈴木 淳子 氏

静岡県三島市出身。商社で10年間営業職を経験し、その後2004年にNGOに転職、アフガニスタンとラオスに赴任し、ミャンマーの難民事業に携わる。2018年3月より全国災害ボランティア支援団体ネットワークに入職し、九州北部豪雨、西日本豪雨災害対応などを行った。現在は都道府県域ネットワークの構築、被災者支援コーディネーションを担当。共著『被災者支援コーディネーションガイドライン』（JVOAD）。



開催概要

対象者 NPO、一般社団法人、行政、社会福祉協議会、防災士、
自主防災組織等の地域の被災者支援を担う方、防災に興味のある方

会場 ときわプラザ2階第6会議室(徳島市山城町東浜傍示1番地1)

参加費 無料 ※両日・どちらか1日だけの参加の選択可

申込期限：令和6年1月29日(月)

申込方法：申し込みは次のアドレス、右のQRコード
のいずれからエントリーが可能です。
<https://forms.gle/NBctoBUPWpuh4AdF8>

定員：各日40名(先着順)



主催 一般社団法人さいわい
徳島県

問合せ先：一般社団法人さいわい〔担当：井若〕
携帯電話：090-7781-0192 MAIL：iwaka@saiwai.or.jp